

都立晴海総合高等学校 グランドデザイン

【生徒／学校の現状】
個別学習で「数値で測り易い学力である偏差値」を伸ばすと共に、総合学科の強みである「学びたい」授業を多く受けることにより、得意分野を伸ばし、さらに課題研究等で探究する力が育成され、学力偏差では測りにくい、思考力・判断力・表現力が高校生レベルを上回る生徒が多い。

【予想される社会の変化】
・Society 5.0(超スマート社会)において、AIに負けないオリジナリティを持ち、人生100年時代をたくましく生き抜く能力を身に付けさせる。

【教育目標】
1. 自立心や主体性を培い、自己責任能力を育てる。
2. 感性を磨き、創造力・思考力・表現力を育てる。
3. コミュニケーション能力を高め、共に生きる姿勢を育てる。

【学校像/学校経営計画】
1. 個性的で創造性や国際性に富む感性豊かな人間を育てる学校。
2. 特定の分野について優れた能力や意欲をもつ生徒を伸ばす学校。
3. 生徒に充実感・満足感を味わわせる学校。

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】
未来を探究し、学問を探究することにより、自分を磨き続け、他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる。

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】
・2つのたんきゅう「未来を探究し、学問を探究する」のために、9つの力をすべての教科、科目で意識しながら身に付けさせる。
・STEAM(Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics)教育を推進し、課題研究の完成・発表・進化を大成させる。

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力		レベル1 (C)	レベル2 (B)	レベル3 (A)	レベル4 (S)
知識・技能	1 将来設計力	社会人として働くことを理解している。	社会で働く意義と学ぶ必要性を理解している。	自己実現に向け、具体的な方法を考えることができる。	自分の自己実現とともに、社会貢献への使命感を持つことができる。
	2 社会課題発見力	身近な課題に気づくことができる。	身近な課題と社会課題の相関関係を理解できる。	社会課題について、自分の言葉で説明できる。	社会課題の具体的な解決策を提案することができる。
	3 情報活用能力	インターネット、図書館の利用ができる。	正しく必要な情報を適切に情報収集できる。	収集した情報を整理分析できる。	分析した資料に自分の意見を加え、検証や提言として活用できる。
思考力・判断力・表現力	4 論理的思考力	質問の意図を理解し、正しく回答できる。	論理的記述を理解し、筋道の通った文章を記述できる。	論理的記述の論証の過程や手法を理解し、発表に取り入れることができる。	研究課題や論文において、自分の推論を、仮説、検証、考察で立証できる。
	5 仮説力	自分の考え(仮説)を持つことができる。	仮説の根拠を見出すことができる。	仮説の根拠を検証し、分析することができる。	仮説から導き出した結論をもとに他の事象に生かすことができる。
	6 プレゼンテーション力	自分の意見や考えを発表できる。	よい発表について理解し、発表方法を工夫して伝えることができる。	説得力があり、視覚的に優れた発表をすることができる。	発表することを楽しみながら、聞き手を感動させる発表ができる。
学びに向かう力・人間性	7 自己学習力	授業に集中し、学習内容を理解しようとしている。	学習の準備と定着を図るために予習と復習をすることができる。	授業内容を十分に理解し、発展問題に取り組むことができる。	授業で獲得した知識・技能をもとに、学校外の活動につなげることができる。
	8 挑戦する力	物事をポジティブにとらえることができる。	目標を設定し主体的に取り組むことができる。	困難にぶつかっても、自分の責任を果たす努力を続けることができる。	失敗を克服し、他者にも良い影響を及ぼすことができる。
	9 協働力・コミュニケーション力	集団のルールを守って行動することができる。	集団の中で自分の役割を果たし、協力し合うことができる。	自分と他者の意見の相違を調整することができる。	リーダーシップを発揮して集団をまとめることができる。

目指すべき生徒の将来像

未来を探究し、学問を探究することにより、自分を磨き続け、他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる。